

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年5月25日 (2017.5.25)

【公表番号】特表2016-517848(P2016-517848A)

【公表日】平成28年6月20日 (2016.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-037

【出願番号】特願2016-507061(P2016-507061)

【国際特許分類】

C 07 K 14/195 (2006.01)

C 12 N 1/15 (2006.01)

C 12 N 1/19 (2006.01)

C 12 N 1/21 (2006.01)

C 12 N 5/10 (2006.01)

A 23 L 33/10 (2016.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 N 5/0783 (2010.01)

C 12 N 5/0784 (2010.01)

C 12 N 5/071 (2010.01)

A 61 K 35/74 (2015.01)

A 61 K 38/00 (2006.01)

A 61 K 31/7088 (2006.01)

A 61 K 35/76 (2015.01)

A 61 K 48/00 (2006.01)

A 61 K 9/48 (2006.01)

A 61 P 3/02 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 37/00 (2006.01)

A 61 P 37/02 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 3/04 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 17/06 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 17/02 (2006.01)

A 61 P 37/08 (2006.01)

A 61 P 11/02 (2006.01)

A 61 P 1/14 (2006.01)

A 23 K 20/00 (2016.01)

A 23 K 20/147 (2016.01)

【 F I 】

C 07 K 14/195 Z N A

C 12 N 1/15

C 12 N 1/19

C 12 N 1/21

C 12 N 5/10

A 23 L 1/30

C 12 N 15/00 A

C 1 2 N	5/0783	
C 1 2 N	5/0784	
C 1 2 N	5/071	
A 6 1 K	35/74	C
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	35/74	A
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	1/14	
A 2 3 K	1/16	3 0 3 D
A 2 3 K	1/16	3 0 4 B
A 2 3 K	1/16	3 0 3 F

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月7日(2017.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロゼブリア属フラジェリン、及び／又は前記ロゼブリア属フラジェリンをコードするポリヌクレオチド配列、及び／又は前記ポリヌクレオチド配列を含むベクター、及び／又は前記ベクターを含む細菌を含む宿主細胞、及び／又は前記ポリヌクレオチド配列を含む細菌を含む宿主細胞を含む、対象における炎症性障害及び／又は自己免疫性障害の治療及び／又は予防剤。

【請求項 2】

ロゼブリア属フラジェリンが、
配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、配列番号 8、配列番号 10、又は配列番号 12、
若しくはそのバリエーション、ホモログ、断片又は誘導体と少なくとも 75% の同一性を有するポリペプチド、及びその組合せ
からなる群から選択され、

ロゼブリア属フラジェリンをコードするポリヌクレオチド配列が、
配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、配列番号 8、配列番号 10、又は配列番号 12、
若しくはそのバリエーション、ホモログ、断片、又は誘導体と少なくとも 75% の同一性を有
するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド配列；

配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、配列番号 7、配列番号 9、又は配列番号 11、若
しくはそのバリエーション、ホモログ、断片、又は誘導体と少なくとも 75% の同一性を有す
るポリヌクレオチド配列；

及びその組合せ

からなる群から選択される、請求項 1 に記載の 治療及び / 又は予防剤。

【請求項 3】

障害が、関節リウマチ、乾癬、多発性硬化症、1 型糖尿病、セリアック病、アトピー性
皮膚炎、鼻炎、過敏性腸症候群 (I B S)、大腸炎、炎症性腸障害 (I B D)、潰瘍性大
腸炎、囊炎、クローン病、機能性消化不良、アトピー性疾患、壊死性腸炎、及びそれらの
組合せからなる群から選択される、請求項 1 に記載の治療及び / 又は予防剤。

【請求項 4】

対象における制御性 T 細胞の産生を増加する、請求項 1 に記載の治療及び / 又は予防剤
。

【請求項 5】

対象の 1 又は 2 以上の細胞における I L - 10 及び / 又は T G F の産生を増加する、
請求項 1 に記載の治療及び / 又は予防剤。

【請求項 6】

対象の 1 又は 2 以上の細胞における免疫応答及び抗原認識に關与する細胞表面マーカ
ーの産生を増加する、請求項 1 に記載の治療及び / 又は予防剤。

【請求項 7】

免疫応答及び抗原認識に關与する細胞表面マーカ－が、C D 4 0、I - A / I - E、C
D 3 1 7 / B S T - 2、C D 1 0 3、C D 8 0、C D 8 6、C D 8 3 及び / 又は S i g l
e c - H 及び / 又は同等種である、請求項 6 に記載の治療及び / 又は予防剤。

【請求項 8】

免疫応答及び抗原認識に關与する細胞表面マーカ－の産生が樹状細胞による、請求項 6
又は 7 に記載の治療及び / 又は予防剤。

【請求項 9】

対象の 1 又は 2 以上の細胞における 1 又は 2 以上の I 型 I F N 遺伝子の発現を減少させ
る、請求項 1 に記載の治療及び / 又は予防剤。

【請求項 10】

ロゼブリア属フラジェリン、及び / 又は前記ロゼブリア属フラジェリンをコードするポ
リヌクレオチド配列、及び / 又は前記ポリヌクレオチド配列を含むベクター、及び / 又は
前記ベクターを含む細菌を含む宿主細胞、及び / 又は前記ポリヌクレオチド配列を含む細
菌を含む宿主細胞を含む、対象における食欲の刺激剤。

【請求項 11】

対象の血液におけるコレシストキニン (C c k) 及び / 又はグルカゴン (G c g) のレ
ベルが減少する、請求項 10 に記載の刺激剤。

【請求項 12】

ロゼブリア属フラジェリン、及び / 又は前記ロゼブリア属フラジェリンをコードするポ
リヌクレオチド配列、及び / 又は前記ポリヌクレオチド配列を含むベクター、及び / 又は
前記ベクターを含む細菌を含む宿主細胞、及び / 又は前記ポリヌクレオチド配列を含む細
菌を含む宿主細胞と、薬学的及び / 又は栄養学的に許容される賦形剤、担体又は希釈剤と
を含む医薬組成物及び / 又は栄養補助剤。

【請求項 13】

ロゼブリア属フラジェリン、及び / 又はポリヌクレオチド配列、及び / 又はベクター、
及び / 又は前記ベクターを含む細菌を含む宿主細胞、及び / 又は前記ポリヌクレオチド配

列を含む細菌を含む宿主細胞がカプセル化されている、請求項 1 2 に記載の医薬組成物及び／又は栄養補助剤。

【請求項 1 4】

対象における障害を治療するのに使用するための、請求項 1 2 又は 1 3 に記載の医薬組成物及び／又は栄養補助剤であって、前記障害が、炎症性障害及び／又は自己免疫性障害である、前記医薬組成物及び／又は栄養補助剤。

【請求項 1 5】

対象の食欲を刺激するのに使用するための、請求項 1 2 又は 1 3 に記載の医薬組成物及び／又は栄養補助剤。

【請求項 1 6】

請求項 1 2 に記載の医薬組成物及び／又は栄養補助剤を製造する方法であって、前記方法が、ロゼブリア属フラジェリン、及び／又はポリヌクレオチド配列、及び／又はベクター、及び／又は前記ベクターを含む細菌を含む宿主細胞、及び／又は前記ポリヌクレオチド配列を含む細菌を含む宿主細胞を、薬学的及び栄養学的に許容される賦形剤、担体又は希釈剤と混合するステップを含み、前記ロゼブリア属フラジェリン、及び／又は前記ポリヌクレオチド配列、及び／又は前記ベクター、及び／又は前記ベクターを含む細菌を含む前記宿主細胞、及び／又は前記ポリヌクレオチド配列を含む細菌を含む前記宿主細胞がカプセル化されていてもよい、前記方法。